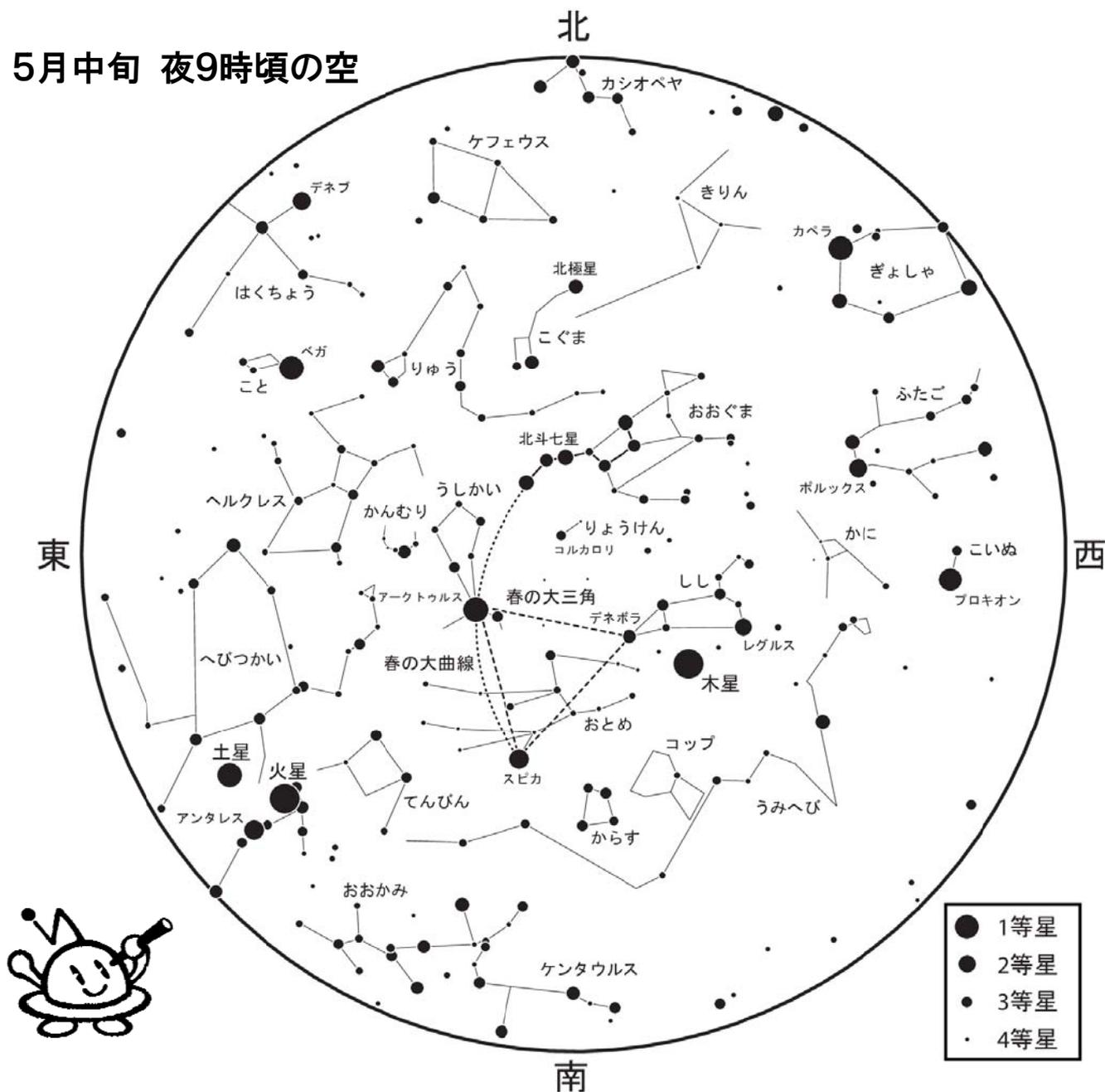


阿南市科学センター 5月の星空案内

5月中旬 夜9時頃の空

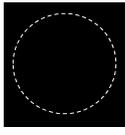


5月には春霞も落ち着き、日によっては大変透明度の良い美しい夜空になることがあります。そんな夜はぜひ春の星空を楽しんでみましょう。北斗七星(おおぐま座の一部)からうしかい座のアークトウルス、おとめ座のスピカへと続く大きなカーブは春の大曲線と呼ばれ、春の星座や明るい星を探すのに便利です。さらに、しし座のデネボラと先ほどのアークトウルス、スピカを繋げば春の大三角ができあがります。なお、しし座にはレグルスという1等星が輝き、この星とデネボラの近くには木星が明るく輝いています。そして5月下旬には火星や土星が見ごろをむかえ、一層にぎやかな夜空になることでしょう。

天体観望会の予約・お問い合わせ先

阿南市科学センター 徳島県阿南市那賀川町上福井南川淵8-1 電話 0884-42-1600

◇ 月の満ち欠け

名称	下弦の月	新月	上弦の月	満月
形状				
見える日	4月29日	5月7日	5月14日	5月22日

◇ 惑星について

名称	水星 	金星 	火星 	木星 	土星 
見どころ	5月下旬に明け方東の低空において観察可能。	明け方東の低空で見えるが、太陽に近いため条件は悪い。	5月31日に地球と最接近。アンタレスの近くで輝く。	5月15日に半月とならぶ。位置はしし座。	5月の下旬から前半夜で観測しやすくなる。位置はへびつかい座。
明るさ	約1等	約-4等	約-2等	約-2等	約0等

◇ 今月のおすすめ天体/定期天体観望会

りょうけん座の二重星 コル・カロリ

夜空の星々の中には、肉眼で見ると一つの星にしか見えないのに、望遠鏡を通して観察すると、二つの星が寄り添って見える二重星(ダブル・スター)という天体があります。りょうけん座α星であるコル・カロリは代表的な二重星の一つで、望遠鏡で見ると約2.8等星と約5.6等星が並んでいる様子がわかります(図1)。二重星はたまたま同じ方向に二つの星が並んでいるものと、連星と呼ばれる互いの引力で引き合い軌道を描いているものがあります。コル・カロリは連星の一種で、約2800年の周期で公転していると考えられています。

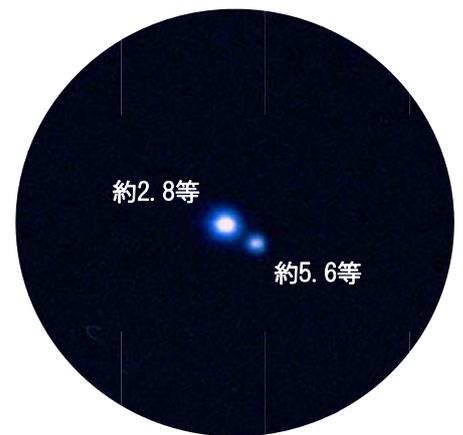


図1: 二重星コル・カロリの様子 (撮影: 阿南市科学センター)。

◇ 注目の天文現象

約2年ぶりに火星と地球が接近

きたる5月31日は約2年ぶりに地球と火星が最接近となります。このとき地球と火星の距離は約7500万kmまで接近し、ここまで接近するのは2005年以来です。2016年の火星は春から夏にかけてさそり座付近で見られるため、赤色に輝く1等星アンタレスと並ぶ姿をぜひご覧ください。なおアンタレスという名前は「火星に対抗するもの(アンチ・アレス)」が語源と言われ、今年もアンタレスの名前の由来を目の当たりにできるチャンスでもあります。

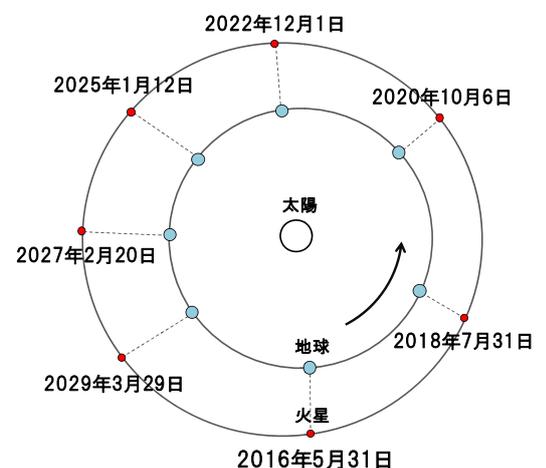


図2: 火星と地球の接近 (2016~2029年まで)。